

を結ぶ無料シャトルバスを運行予定で、みこの竹森美和さん(同右)は「利用者にはボストカー

R。「恋のくに」では3人が笑顔で出迎えてくれることでしょう。

駅前に木造船

筑後船小屋駅



「船小屋」の地名にちなみ、駅前広場に設置された木造船

筑後市は4日、九州新幹線筑後船小屋駅(同市津島)のシンボルの一つにしようと、「船小屋」

の地名にちなみ木造船を駅前広場に設置した。駅前広場は、新幹線と在来線の両駅舎に挟まれた1万2千平方㍍。「矢

部川の流れ」をイメージした設計で、人工滝や水路が施されている。木造船は1963年建造で、全長7・5㍍、重

ドを差し上げます」とP

R。「恋のくに」では3人が笑顔で出迎えてくれることでしょう。

さ400㍍。干ばつ時に矢部川のせきをかさ上げする際、上流から石を運ぶために使われた。保管していた地元の水利組合から寄贈を受け、屋外休憩所に設置した。

市によると、船小屋の地名は、江戸時代に護岸工事用船舶の収納小屋があつたことに由来するといい、木造船の設置作業を見届けた中村征一市長は「子どもたちは楽しく遊べるはず。矢部川の自然や歴史も感じ取ってもらいたい」と話した。